

建設産業情報（最近の動向）

在外公館名 在オマーン大使館

記入日 平成25年10月7日

1. 現地の建設工事に係る経済情報

該当なし。

2. 建設業制度、入札契約制度の改正動向

該当なし。

3. 報道情報

	タイトル、概要	日付/掲載紙	添付
1	<p>「ハール空港及びラス・アル・ハッド空港の旅客ターミナルの入札の公示」：</p> <p>1 ソハール空港及びラス・アル・ハッド空港の旅客ターミナルの入札である同空港のパッケージ3の入札が公告された。</p> <p>2 同入札の所轄元である運輸通信省は、これら2空港に加えて現在建設中のドゥクムを含む3つの国内空港のターミナルビルパッケージの再評価を行っていた。この検討に伴い、3空港のターミナルビルの設計の徹底調査が行われた。これにより、全体機能及び効率性の向上のため建物構造は縮小されたが、収容可能な乗客数は年間1500万人のまま変更されていない。</p> <p>3 同省によると、旅客ターミナルの技術及び設計に関する特徴を再検討したことにより、建設・保守・運営に要する費用は大幅に削減される予定である。また、再検討された設計では、将来的には同ターミナルを水平拡張することができる。さらに、ターミナルの建設地が縮小されたことにより、広大な土地が観光及び航空関連サービスへの投資に開かれることになった。</p> <p>4 同省は、3空港に共通のレイアウトを採用した。各ターミナルは5000平方メートルの土地に建設され、レストラン、小売店等に十分な広さである。荷物運搬システム、</p>	<p>2013/9/8</p> <p>・Observer</p>	<p>ありなし</p>

	<p>ボーディングブリッジ及び現代的な航空施設も、3空港に共通した特徴の一部である。</p> <p>5 フェーズ3の入札パッケージの落札者は、各空港の38メートルの高さの航空管制塔及びその他施設も建設することになる。ソハールにおいては、2万5000トンの航空貨物ターミナルも予定されている。</p>		
2	<p>「2014年までに第1セグメントに着工」:</p> <p>1 「投資フォーラム-鉄道プロジェクト」におけるファイシ運輸通信相の発言（16日付当地各紙）</p> <p>(1) オマーンの投資額は、約50-60億オマーン・リアル、全GCC鉄道プロジェクトにおける長期計画では、1000億オマーン・リアルと予想されている。(2) オマーン国内路線の長さは、2,244kmであり、最初の建設契約は、2014年に行われる。</p> <p>(3) 迅速にプロジェクトを進めており、真剣な提案と予備調査を行うことが出来る投資家を必要としている。</p> <p>(4) オマーン企業との連携を通じて、外国投資を惹き付けたいと考えている。外国人投資家がオマーンに支店を設置し、イン・カンントリー・バリューを増やすことが重要である。</p> <p>(5) 設立が進められているオマーン鉄道会社（Oman Railway Co.）が、実施、調達戦略、プロジェクト設計を行う。我々は、オマーン鉄道会社が、オペレーションも行うのか、子会社に行わせるのかを決めることになるだろう。</p> <p>(6) プロジェクト・マネジメント・コンサルタントの指名に関しては、運輸通信省が入札の検討・評価を実施しており、今月末までに入札委員会にその選択を通知できるようにしたい。</p> <p>(7) 世界的な専門家の支援を得つつ、オペレーションに関する戦略的なオプションについて検討するだろう。オマーン鉄道会社は、直接プロジェクトを管理するか、戦略的なパートナーシップを結ぶことも可能である。また、世界的なオペレーターにライセンスを供与することも可能である。決定は、来年の中頃までに行われるだろう。</p> <p>2 Italferr 社ベカストリーニ中東地域支配人の発言（16日付当地各紙）</p> <p>(1) 鉄道は、小規模の駅が30、中規模の駅が10、大規模の駅が6、操車場が8つ必要である。</p>	<p>2013/9/16</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ Times of Oman ・ Muscat Daily ・ Observer <p>2013/9/17</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ Times of Oman ・ Muscat Daily 	<p>あり/なし</p>

<p>(2) 更に、同プロジェクトは、1万2000kmのレール、1000万本のまくら木、2000万個の緩衝材と225万メートルのパイプ、35のトンネル、45の高架橋と98の横断歩道が必要である。</p> <p>(3) レールの生産は、その大きな需要を考慮すれば、利益を生むであろう。また、様々な場所にまくら木を生産する多くのプラントが必要となる。</p> <p>(4) 鉄道プロジェクトは、次の9つの区画から成っている。</p> <p>①ソハールーUAE国境アルアイン (Sohar-Al Ain)</p> <p>②アル・スナイナーシナウ (Al Sunainah-Sinaw)</p> <p>③シナウードウクム (Sinaw-Duqm)</p> <p>④ドクムーサララ (Duqm-Salalah)</p> <p>⑤ソハールーマスカット (Sohar-Muscat)</p> <p>⑥アル・ミスファーシナウ (Al Misfah-Sinaw)</p> <p>⑦シナウーイブラ (Sinaw-Ibra)</p> <p>⑧サムライトーアル・マイズーナ (Thamrait-Al Mayzouna)</p> <p>⑨ソハールーハトマト・マラーハ (Sohar Port-Khatmat-Milahah)</p> <p>(5) 15のディーゼル・エンジン、80の客車と40の貨物車を必要とする。</p> <p>(6) 2300万立方メートルの線路の下に敷く碎石や18メートルの棒が67万本必要となる。また所蔵庫や碎石場、コンクリート用のバッチプラントが様々な場所で必要になる。また、電力供給や機材供給にもビジネスチャンスはある。Italferr社は、KEOコンサルタントと協力し、すでに初期設計とデータ収集を開始している。</p> <p>3 ナーセル・アル・バドリ・オマーン鉄道人材開発局長</p> <p>(1) 鉄道部門における内外の人材の需要にこたえるセンターが、近くオマーンに設置される。オマーン鉄道会社によって設立される同センターは、研修のみならず、調査、質の保証、鉄道部門に従事するライセンス発行も行う。</p> <p>(2) 単なる訓練施設ではない。国際基準に合致した主要な組織にしたいと考えている。</p> <p>(3) オマーン鉄道会社は、50人のオマーン人技師に初期設計コンサルタント (PDC)、及びプロジェクト・マネージメント・コンサルタント (PMC) の実地訓練 (OJT) を行う。</p>		
--	--	--

	<p>(4) PDCは, Italferr が行う。PMCについては数ヶ月後に決まる。50人の候補者のうち, 10人がPDCに, 40人がPMCの研修を受けることになる。</p> <p>(5) 鉄道プロジェクトの人材需要は, 500-600万オマーン・リアルと見込まれているが, まだ, 分かっていない。来年の第1四半期か第2四半期にはっきりするだろう。</p>		
--	---	--	--

4. その他我が国建設業界にとって参考となりうる最近の動向

<p>該当なし</p>
